

極東ロシアにおける高等教育システムの現状

アレクサンダー A. ワシリエフスキー

国立サハリン総合大学

The Current Situation in the System of Higher Education in the Far East of Russia

Alexander A. Vasilevski

Sakhalin State University

(翻訳版)

(要約)

現在、ロシアの高等教育機関は、教員、研究者、学生、大学院をすべて合わせて約 600 万人の人員を擁している。その中身は 1000 以上の大学、専門学校、および他の教育機関である。伝統的にきわめて強力であったロシアの教育システムが、今厳しい危機の瀬戸際にあることはもはや秘密でも何でもなし。特に極東では、1990 年代から政府からの資金が頼りないものになった。このような現実から高等教育機関は第 2、第 3 の資金源を求めることを余儀なくされている。また、現在のロシアの各地域の高等教育機関の特異な点として、人々が多少のお金を払っても自分の子供たちを国立の教育機関で学ばせたいと思っているため私立学校が多くなることがあげられる。1990 年代のこの新しい困難な状況のもとで、科学会議および高等教育の権威は、獲得した自由度をこの状況を癒すために用いることになった。一つの典型的な方法は、新しい名前をつけて機関としてのランクを上げることである。国立サハリン大学は、1949 年に連邦政府の決定の結果として師範学校として設立されたが、この格上げによって若くダイナミックに発展する大学となっている。今では 4500 人以上の学生と大学院生がいる。極東における典型的な「アカデミー」は、ハバロフスク国立経済法律アカデミーであるが、この機関はほぼ 9000 人のフルタイムとパートタイムの学生および 300 人の教師を擁している。著者は、これら以外の大学やアカデミーや専門学校について概観し、今日の研究界に光をあてている。

1. はじめに

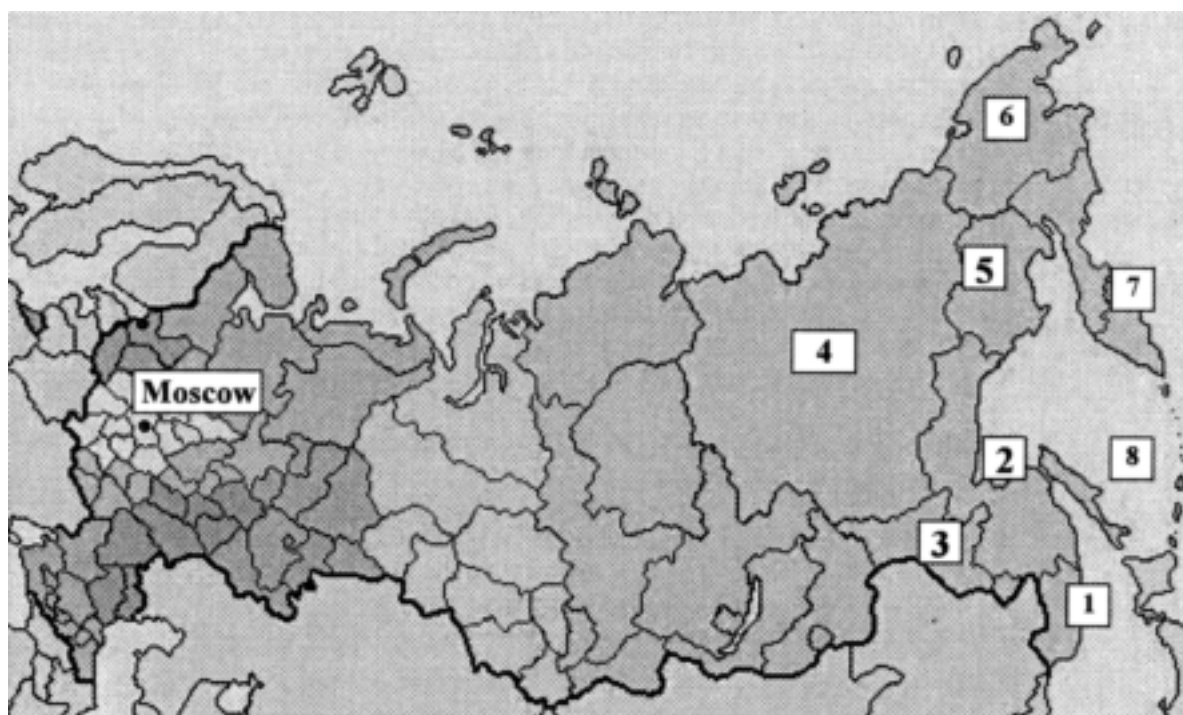
1.1 現代ロシアにおける高等教育の1990年代の現状

ロシアにおける高等教育はピョートル大帝によって1725年に創設された。それ以来様々な時代と多くの変化を経ている。今日それは最も困難な局面にあるが、栄光ある過去の伝統が現在の困難を克服するのに役立っている。現時点ではロシアの高等教育機関は、おおよそ600万人の教師、研究者、学生、大学院生をかかえている。それは1000以上の大学、研究所その他の教育機関を含んでいる^(注1)。高等教育のシステムはおおよそ800の研究施設、実験計画事務局、実験製造企業などを持つ。^(注2)

ロシアの高等教育機関には、財産と財政上の2つのシステムとして国立と非国立(すなわち、私立、分担

所有 share property など)がある。1999年に存在している1065の機関のなかで、731の機関が国立であり、334が私立あるいはさまざまな非国立の形態である^(注3)(表1を見よ)。ロシアには24の大臣と政府の委員会があって、高等教育のさまざまな部門を管轄している^(注4)。このように、システムは極めて複雑であるが、1990年代のロシアにおける自由経済の現実のなかで、学問と研究の活動に対する選択の幅が広がった。

高等教育機関は、「教育に対する連邦法」をベースにして作り出された国家標準に準拠する、次のアカデミック・プログラムに従って教育を行っている。1960年代以来、高等教育の学問的レベルは10から11年の学校教育を前提とするレベルになっている。今は初等、中等、高等学校からなる11年の学校システ



- | | |
|--------------------------|---------------------------------|
| 1. プリモールキ - 地方 (ウラジオストク) | 6. チュコト自治管区 (アナディル) |
| 2. ハバロフスク地方 (ハバロフスク) | 7. カムチャツカ州 (ペトロパブロフスキー・カムチャツキー) |
| 3. アムルスキー地方 (ブラゴベシチェンスク) | 8. サハリン州 (ユジノサハリンスク) |
| 4. サハ-ヤクート共和国 (ヤクーツク) | |
| 5. マガダン州 (マガダン) | |

図1. 極東ロシア

表 1. 現代ロシアにおける高等教育
 (ロシア高等教育研究インスティテュート^(脚注)とその他のウェブデータを合わせた公式情報)

Subject	years					
	1985	1990	1995	1996	1997	1998
Population of Russia(<i>mln. people</i>)	143,8	148,0	148,3	148,0	147,5	147,1
Students of state higher educational institutions /SHEI/ (thousands people)	2966	2824	2642	2802	3046	3347
Students of SHEI for 10 000 people All over Russia (average)	206	191	178	189	207	228
Students of SHEI for 10 000 people in the Far East			155			
Students who study in the SHEI for state budget (thous. people)			2414	2476	2572	2581
Students who study in the non-state HEI /NSHEI/(thous people)			135	162	202	251
The number of students of different property HEI (thous. people)	2966	2824	2777	2964	3248	3598
Students of different property HEI for 10 000 people	206	191	187	200	220	245
The number of students of colleges (thous. people)	2478	2270	1923	1976	2011	2052
The total number of students of colleges and different HEI (thous. people)	5444	5094	4700	4940	5259	5650
students of colleges and different HEI for 10 000 people	378	344	328	334	357	384

注. 『Magiter(ロシア高等教育インスティテュートのニュースレター)』9(50),9月-10月,1999(<http://www.informika.ru>).

ムがある^(注5)。学校教育を11年から12年に拡大することが現在検討中である。卒業後に学士号が授与される4年間のプログラムと、エンジニア、教師、農学、経済学など多様な専門家としての資格を取得できる5年間のプログラムがある。6年間のプログラムは、特定の学問分野での学士のプログラムと、修士の学位を取得する学生のための上級の研究教育と、科学的活動を意味する、2年間の訓練と実習の特別コースからなる。

研究を志す卒業生は、大学院生として教育を続けることができる。最良の大学には博士課程がある。これを終えた後に「科学キャンディデイト(PhD)請求有資格者」の学位を取得する機会を得る。ロシアには、もう一つ最高の学位として「科学博士」があり、これは科学に対する重要な貢献をした著名な科学者に授与される^(注6)。

伝統的に強力だったロシアの教育システムが、現在非常に厳しい危機に瀕していることはよく知られるようになった。このシステムの極東の部分に関するいくつかの問題について、以下に述べるつもりである。しかし、このレポートはロシアの教育問題を主題としてはいないので、関心のある人は以下で触れる文献を参照していただきたい^(注7)。

1.2 今日の極東ロシア

このレポートでは、極東ロシアにおける高等教育システムについて簡単に記述する。この広大な地域は、プリモルキー(沿海地方)とハバロフスクの2つの地方、サハリンとカムチャッカ、マガダンの3州、そしてチュコト自治管区とサハ(ヤクート)共和国がある。コリヤーク自治管区(カムチャッカ)とユダヤ自治州(ハバロフスク)も含まれる(図1)。100ヶ国以上の国籍の人々がこの非常に広くてほとんど無人の地域に住んでいる。極東ロシアの面積は約6,216,000平方キロメートルである。これはアメリカ合衆国の大きさの3分の2に近い。しかしながら1998年の人口はわずかに7,463,000人であった。ちなみにロシアの総人口は約147,100,000人であった。高等教育機関が集中している都市はウラジオストク、ハバロフスク、ヤクーツク、ユジノ・サハリンスク、ブラゴベシチェンスク、ペトロパブロフスク・カムチャツキー、コムソモルスク・ナ・アムール、マガダン、ピロビジャン、そしてウスリースクである。この地域での生活が改善されるという期待があまり持てないと

いうことを反映して、人々は非常に高い割合でこの地域から外に移住している。さらに、この地域の平均寿命も全ロシアの平均より短い。10,000人の住民当たり155人の学生がいる。ちなみに全ロシアでは平均178人である^(注8)。同時に前ソビエト連邦の共和国から多くのロシア語を話す人々がよりよく安全な生活を求めてこの地域に移住している。1998年の極東ロシアには62の高等教育機関があった。極東ロシアの高等教育機関の現状を以下に記述し簡単に解析する。

2. 極東ロシアの高等教育システムと現状

2.1 歴史

極東ロシアに高等教育が確立されたのは、ようやくウラジオストクに「東洋学研究所」が設立された1899年であった。この研究所をもとにして1920年に極東国立大学が設立された。それは、東洋研究、歴史と哲学、そして社会科学の3学部を持っていた。学生数は349人であった。1923年にウラジオストク教育工科大学とチタ国立大学が加わった。こうして学部の数は増加した。高等教育システムの最大の発展は第2次世界大戦のあとに起こった。1960年代から1990年代には約25の国立の高等教育機関があった。このシステムの基幹大学は極東大学、高等海洋学校、3つの工科インスティテュート、3つの医科インスティテュート、そして7つの教育インスティテュートであった。その時期以降の高等教育の中心はウラジオストク、ハバロフスク、そしてヤクーツクであった。

2.2 システムについての情報

現在(1999年)では、極東ロシアには62の高等教育機関がある^(注9)。その中には16の大学と8つのアカデミー、10のインスティテュート、そして中央と地域の大学とインスティテュートの出先である28の高等教育機関がある^(注10)。出先のリストの中には、モスクワのインスティテュートの出先が5校、セントペテルスブルグからの2校、極東(主にウラジオストクとハバロフスク)からの19校、そしてシベリアの高等教育機関からの2校がある(表2を見よ)。

2.3 財産、予算および関連する問題

高等教育の世界では、特に国家評価を受ける機関のうちでは、国立の高等教育機関は飛び抜けた存在である。私立の高等教育機関に関しては、数えてみれば

表2. 極東ロシアの高等教育機関

(on the combined official information of the Research Institute for Higher Education of Russia and other web data²⁰)

TOWN	HIGHER EDUCATION INSTITUTION (HEI)	FIELD OF STUDY	CONTACT
1	2	3	4
1. Artem	Branch of the Far Eastern Technical University	Engineering	
2. Artem	Branch of the Far Eastern University	University	
3. Blagoveshensk	Amur State University	University	rektor@amgu.amur.su
4. Blagoveshensk	Blagoveshensk state Educational University	Education and Culture	bgpi@on-line.jar.ru
5. Blagoveshensk	Far Eastern State Agricultural University	Agriculture	Fax: (4162) - 423179
6. Bolshoi Kamen'	Branch of the Far Eastern State Engineering University	Engineering	
7. Vladivostok	Vladivostok State Medical University	Health and Physical Culture	Fax: (4232) - 251719
8. Vladivostok	Vladivostok State University of Economy and Service	Economy and Service	www.vvsu.ru
9. Vladivostok	Far Eastern State Academy of Economy and Management	Economy and Business	dvki3@vldv.rosmail.com
10. Vladivostok	Far Eastern State Marine Academy	Shipping	Fax: (4232) - 219223
11. Vladivostok	Far Eastern State Technical Fisheries University	Nutrition products	www.marine.su/FESTFU

²⁰ Only Higher Educational Institutions. No colleges are included into the list.

12. Vladivostok	Far Eastern State Institute of Arts	Arts	Fax: (4232) - 264922,264488
13. Vladivostok	Far Eastern State Technical University	Engineering	www.festu.ru
14. Vladivostok	Far Eastern State University	University	www.dvgu.ru
15. Vladivostok	Far Eastern Branch of the S-Petersburg Humanitarian University of the Trade-Unions (non-state)	Education and Culture	constant@online.marine.su
16. Vladivostok	Institute of management and business of the Far Eastern State University	University	admin@ccimb.dvgu.ru ostanin@ccimb.dvgu.r
17. Vladivostok	Branch of the Komsomolsk on Amur Educational Institute in Vladivostok	Education and Culture	
18. Vladivostok	Branch of the Russian Customs Academy	Economy	rincom@online.ru
19. Vladivostok	Branch of the S-Petersburg State Engineering and Economical Academy	Economy	Fax: (4232) - 462505
20. Dalnegorsk	Branch of the Far Eastern State Technical University	Engineering	Phone:(42373) - 92538
21. Dalnerechensk	Branch of the Far Eastern State Technical University	Engineering	
22. Komsomol'sk-on-Amur	Komsomol'sk-on-Amur State Educational Institute	Education and Culture	kgpi@kgpi.kms.ru
23. Komsomol'sk-on-Amur	Komsomol'sk-on-Amur State Technical University	Engineering	root@knapi.khabarovsk.su
24. Magadan	Northern International University	University	admin@ipu.magadan.su
25. Magadan	Branch of the Moscow State Academy of Law	Law	Fax: (41322) - 97187
26. Myrnyi	Branch of the Yakutsk State University	University	ygumir@yacc.yakutia.su
27. Nakhodka	Institute of Technology and Business (private)	Economy	itib@online.Nakhodka.ru
28. Nakhodka	Branch of the Vladivostok	Economy	Phone: (42366) - 27295

	State University of Economy and Service		
29. Nakhodka	Branch of the Far Eastern State Technical University	Engineering	niei@relay.nakhodka.ru
30. Nakhodka	Branch of the Far Eastern State University	University	Phone: (42366) - 24185
31. Nakhodka	Branch of the Far Eastern State Academy of Economy and Management	Economy	
32. Nerungri	Branch of the Yakutsk State University	University	Fax: (41147) - 44983
33. Petropavlovsk-Kamchatski	Far Eastern Academy of Management, Business and Law (private)	Economy	grig@svyaz.kamchatka.su
34. Petropavlovsk-Kamchatski	Far Eastern Branch of the Russian Academy of the Foreign Trade	Economy	grig@svyaz.kamchatka.su
35. Petropavlovsk-Kamchatski	Kamchatka State Fish-Marine Academy	Fish-Marine	rektor@marine.kamchatka.su
36. Petropavlovsk-Kamchatski	Kamchatka State Educational Institute	Education and Culture	Phone: (41522) - 26822
37. Petropavlovsk-Kamchatski	Branch of the Far Eastern State Technical University	Engineering	Phone: (41522) - 28531
38. Petropavlovsk-Kamchatski	Branch of the Far Eastern State University	University	Phone: (41522) - 27961
39. Ussuriisk	The Maritime State Agricultural Academy	Agriculture	Fax: (42341) - 28303
40. Ussuriisk	Ussuriisk State Educational Institute	Education and Culture	rector@dionis.vladivostok.ru
41. Ussuriisk	Branch of the Far Eastern State Academy of Economy and Management	Economy	
42. Khabarovsk	Far Eastern Academy of the State Service	State Service	rector@main.drags.khv.ru
43. Khabarovsk	Far Eastern State Medical University	Health	Fax: (4212) - 227208
44. Khabarovsk	Far Eastern State University of Transport Communication	Transport Communication	root@habiigt.khv.ru

45. Khabarovsk	The Far Eastern Department of the Moscow University of the Consumer Coop Trade (non-state)	Economy	Phone: (4212) - 215553
46. Khabarovsk	Khabarovsk State Academy of Economy and Law	Economy	rector@ael.khstu.ru www.ael.khstu.ru
47. Khabarovsk	Khabarovsk State Institute of Culture and Arts	Education and Culture	Fax: (4212) - 225677
48. Khabarovsk	Khabarovsk State Institute of Physical Culture	Health and Physical Culture	Fax: (4212) - 225677
49. Khabarovsk	Khabarovsk State Educational University	Education and Culture	khspu@dv.khv.ru
50. Khabarovsk	Khabarovsk State Technical University	Engineering	www.khstu.khabarovsk.su/
51. Khabarovsk	Branch of the Siberian State Academy of Telecommunication and Informatics.	Communication	neis@neis.khabarovsk.su
52. Yuzhno-Sakhalinsk	Sakhalin State University	University	www.sakhgu.sakhalin.ru
53. Yuzhno-Sakhalinsk	Yuzhno- Sakhalinsk Institute of Commerce of Moscow State University of Commerce	Economy	root@mskcom.sakhalin.su
54. Yuzhno-Sakhalinsk	Yuzhno- Sakhalinsk Institute of Economy, Law and Informatics (private)	Economy	http://sakhiepi.kriljonservice.ru/
55.	Institute Sam Yuk (private)	Languages, religion	
56. Yuzhno-Sakhalinsk	Branch of Khabarovsk State Academy of Economy and Law	Economy	Phone: (42422) - 796232
57. Yakutsk	Yakutsk State Agricultural Academy	Agriculturel	Fax: (4112) - 264949
58. Yakutsk	Yakutsk State University	University	http://somunix.uafsom.alaska.edu/~yakutsk/
59. Yakutsk	Yakutsk branch of the Academy of Labour and Social Relations	Economy	Phone: (4112) - 250612
60. Yakutsk	Department of the Eastern Siberia State Academy of Culture and Arts	Education and Culture	
61. Yakutsk	Branch of the S-Petersburg	Education и Culture	Phone: (4112) - 61159

	Humanitarian University of the Trade-Unions		
62. Yakutsk	Branch of the School- Studio of MHAT	Arts	Fax: (4112) - 450348

表3. モスクワと極東ロシアの高等教育機関の形態

Type of HEI	State HEI			Private HEI		
	Moscow	All Far East	Sakhalin	Moscow	Far East	Sakhalin
Universities of all types (Comprehensive, Technical, Educational, Financial, etc.)	65	16	1	21	-	-
Academies (Law, Management, Transport, Commerce, etc.)	32	7	-	16	1	-
Institutes (different fields)	33	7	1	71	3	2
Conservatories (music)	1	-	-			
Higher Schools (Arts, Culture, Tourism)	6	-	-	7	-	-
Branches of all types of HEI	2	24	1	2	4	-
Total	139	54		117	8	

ば上記62校のうち8校(12.9%)であって、数的には少ない。これはロシアの平均(1998年では7.5%)よりは多いが、ロシアの首都よりは少ない。比較のために述べると、1998年のモスクワには139の国立高等教育機関と117の非国立高等教育機関があった(表3を見よ)。興味をひくのは、同じときにサハリンではほとんど3分の1の学生が私立学校で勉強していたということである。

今ではほとんど解決されたが、非国立学校と他の高等教育機関の地方の出先の地位に関する問題があった。それらは、たいていこの地方で金を稼ぐことを主目的とする小さな企業として組織されていた。この形は、政府のファンドが減少した1990年代の初中期には一般に流行した。それは自由市場が自然に形成される時期であった。このようにして、何人かのあまりまっとうでないビジネスマンが子供に高等教育を授けてその個人的生活をよくしようと願う人々を食い物にするという、問題のあるプロジェクトがはびこる場があった。この問題は今ではほとんど完全に次の2つの事実によって解決された。ひとつは、すべての形の高等教育機関に対する強制的評価とコントロールという形の政府の介入であり、もうひとつは、自由市場の自己規制であった。

現代の国立の高等教育機関の予算は次の3つの主財源から成り立っている：

1. 主に学習活動に対して与えられ基礎的研究には薄い、中央政府または地方政府のファンド
2. 授業料の形で(全科目履修と一部分履修の両方の)学生からの収入
3. いくつかの公共、社会、または教育のプロジェクトなどの応用研究に対する非国家的財源からのファンドや、私的な寄付

2.4 予算削減に起因する主な問題

1990年代に、特に極東では、政府のファンドが非常に信頼できない事態が生じたということである。この現実のために高等教育機関は第2、第3の財源を探さなければならない。現在のロシアの地方における高等教育の特殊性に触れておかなばならない。つまり、人々がたとえその為に支払う必要があってもむしろ国立の学校に子弟を送ることを望むので、私立の学校があまり多くない。学校にはありがちであるが、優秀であって授業料を免除される学生と授業料を払う学生という2つのカテゴリーがある。ま

た、特定の科目だけ授業料を払うカテゴリーもある(注¹¹⁾)。予算が不安定な場合には、理事たちは授業料を得られるグループの数を増やそうとすることを理解する必要がある。そのため、授業料を支払えない地方学校の優秀な卒業生には大学への進学チャンスがない。逆に、授業料が払える親をもつあまり優秀でない学生は大学に入れる。

時代遅れの科学器具と設備、研究費が無いこと、本と新しい科学文献の不足、教師の低くて不規則に支給される給料および学生と大学院生に対する奨学金の不足、これらの問題はすべて高等教育に対する予算の削減から派生している。これらの問題を商業主義で解決するのは正しくないように思える。

熟年のスタッフと若年のスタッフのあいだの世代間のギャップに由来する危険もある。ここでは「世代間のギャップ」という言葉は、世代間の相互不理解ということは意味しない。それは、高等教育機関の教師の1世代が、少なくとも我々のカレッジで、1990年代の初中期に失われたということのみを意味する。例えば、私の働いている大学では、60歳の教授が3人、41から45歳が10人、32歳の教師が2人、21から27歳が8人いる。32から40歳と45から60歳の世代がない。1960年代と1980年代に学生であった世代からなる2つのギャップがはっきり見える。最初のギャップは我々のカレッジの特殊性ともいえるが、後者のギャップは1980年代と1990年代の高等教育財政の破壊といくつかのショックの直接の帰結である。上に述べた問題を解決する責任は国家にある。高等教育の組織をいまなお担っている人々は、新しい限界での速やかで公正な解決に応える用意があるので、高等教育の伝統はなお保たれている。

2.5 機関のタイプと構造

1990年代の新しくて難しい事態において科学評議会と高等教育機関の当局者は得られた自由を使って事態を改善した。高等教育機関における評価の改善を試みる典型的なひとつの方法は、新しい名前(大学、アカデミー、インスティテュート)に代え、機関の構造を再構成することであった。このようにして、同じ名前、例えば、「大学」、または「アカデミー」という名前であるが、異なる構造を持つ新しい機関が現れた。

以下には、極東ロシアにおける高等教育機関の3つのタイプ、大学、アカデミー、インスティテュートに

ついて記述する。

2.5.1 大学

大学に関しては、総合的なものと専門的なもの(医学,工学,教育)の2つのタイプが見られる。私見では、1999年の極東ロシアの地域では、総合大学は極東国立大学(ウラジオストク)とサハ(ヤクート)国立大学の2つしかない。ユーラシア大学協会の決定によれば、双方ともロシア連邦の43の総合大学のリストに含まれている。それらの目標と構造、学習領域、科学および人文分野における資源は「総合的」という概念に十分に適合している。この10年間にこれらの大学もまた構造改革を経ている。

2.5.1.1 極東国立大学(FESU)

この大学には7500人(4500人はフルタイムで3000人は夜間と学外)の学生がいる。大学のスタッフとして634人の教員がおり、そのなかには45人の科学博士である教授と380人の科学キャンディデイト(PhD)^{注12)}である助教授、1人のロシア科学アカデミーの準会員、ロシア交換アカデミーの2人の会員と3人の準会員がいる。現在、極東国立大学には(ロシア人向けと外国人向けの)2つのカレッジ、(教育、体育とスポーツ、外国語の)3つの学科、(51の学科を含む)9つのスクール、および(19の学部と52の学科を含む)11のインスティテュートがある。

学生は、数学、応用数学、物理学、天文学、電子部品材料の物理工学、生物学、農業化学、土壌科学、化学、地理学、気象学、陸地の水文学、海洋学、社会政治関係論、歴史学、法学、国際経済関係学、東洋学、ジャーナリズム学、ロシアの言語と文学、計算機と自動システムソフトウェアの21の専門で訓練されている。

50人以上の学生がこの大学の大学院コースで学んでいる。固体物理学、理論物理学、刑法、有機化学、基本有機複合化学という科学の方面で、博士とキャンディデイトの学位論文を審査する特別の評議会がある。この大学は、アメリカ合衆国、日本、韓国、中国その他の20の大学と科学センターとの協定と国際的交流を行っている^{注13)}。

2.5.1.2 サハリン国立大学(SakhSU)

サハリン国立大学は、若くダイナミックに発展しつつある大学で、極東ロシアに典型的なものである。

ロシア連邦政府の決定に基づき、教師のインスティテュート(カレッジのレベル)として1949年に設立された。1954年には、教育インスティテュートに転換した。そのときから長い間サハリン地域の科学、教育、文化の中心のひとつとして存在した。卒業生のなかには、多くのジャーナリスト、政治家、作家、教師、国家組織の指導者がいる。1998年5月27日のロシア連邦の政府の決定に基づきロシアの“一般および職業教育省”の命令により、ユジノ・サハリンスク国立教育インスティテュート(ロシア教育省)、ユジノ・サハリンスクとアレクサンドロフスク教育学カレッジと芸術カレッジ(サハリン地域の行政部)が合併され、サハリン国立大学(SakhSU)ができた。

現在、サハリン国立大学では、4500の学生と大学院生がいる。研究に意欲を示す卒業生はサハリン国立大学の大学院生になるか、ロシアの他の教育機関で勉強することができる。290の正規の教師がいる。そのなかには100人以上のキャンディデイト(PhD)と科学博士(教授と助教授)と何人かのさまざまなロシアと外国交換アカデミーの会員がいる。サハリン国立大学は、3つのカレッジ、6つの教育インスティテュートと2つの独立科学インスティテュート^{注14)}、一般教育学部(石油ガス工学インスティテュートの特別教育出先機関)^{注15)}、入学前訓練の学科、3つの特別大学講座から成り立っている。さらに、科学図書館、出版部、情報センター、いくつかの独立教育部、2つの郊外キャンパスがある。この構造にある種の不統一を見る人には、たいいていのこのような大学とアカデミーが若いということを考慮してほしい。

教育インスティテュートから国立大学へ転換したのは、総合大学の形態をとる多機能な高等教育機関に対するサハリン地域の強い必要性が存在したからである^{注16)}。これらの必要性とは、石油企業の発展の要求、自由市場への経済構造とライフスタイルの急速な移行、ずっとそうであったように子弟に大陸での教育を授けることができないサハリンのたいいていの家族の貧困などである。普通マスコミでは語られないもう一つの必要性がある。この必要性は一般的であり、ロシアの教育界では現在最も重要なものである。すなわち前には不可能であった、教育現場での競争を我々は今持っているので、より多くの予算を獲得するためには、高等教育の地域そして国家レベルでのマーケットにおいて新しい地位を勝ち取らねばならないということである。サハリン国立大学の

例は、今日のロシアにおける最も典型的なもののひとつである。

もうひとつの大学のタイプとして、工業大学がある。ペレストロイカ以前では極東に存在する工業大学はすべてポリテクニク・インスティテュートであった。これらのインスティテュートが以前よりも自由を得て、教育する専門の数の増加と学生数の増加を獲得したことは注目すべきである。それらの活動はときには工学の枠を超える。例えば、極東国立工業大学(FESTU)には、工学だけではなく社会科学もある^(注17)。この変化を理解するには、非常に新しい現象であるので、我々はもう少し時間が必要であろう。

2.5.2 アカデミー

極東での典型的なアカデミーは、ハバロフスク国立経済法律アカデミー(ロシア政府の一般教育・職業教育省)である。このアカデミーにはおよそ9000人のフルタイムあるいはパートタイムの学生と300人以上の教師がいる。そのなかには35の博士-教授と120のキャンディデイト(PhD)-助教授、さらに150人以上の講師と助手がいる^(注18)。彼らはこのアカデミーで主に次の3つのレベルの教育を行う:

1. 予備訓練 将来のアカデミーへの入学と学習のために準備する
2. 学部教育 「会計と監査」、「商業」、「財政」、「国際経済関係」、「法学」、「経営」を含む
3. 大学院教育 ポストグラデュエイト研究(3,4年),ドクターコース(2,3年),「監査士と会計士の訓練と再訓練」センター,仲裁と破産マネジメントと企業財産の評価の訓練センター,「マーケティング・サービス」センターにおける学習

例えば、「会計と監査」学部は「会計と監査」と「統計」を選考するエコノミストを訓練する。「会計と監査」専攻の枠組みでは、学部は学生に、産業における会計と監査、外国経済活動における会計、クレジット・インスティテューションにおける会計と監査という専門分野について教授することを目的とする。「会計と管理」と「監査、経済解析および統計」の学科では、学部で専門家を訓練する。スタッフには2人の博士である教授と23人の科学キャンディデイト(PhD)である助教授、そして20人の講師と助手がいる。このアカデミーでは、ロシア科学アカデミーの極東ブランチの経済研究インスティテュートからの専門家と、異なる学科の長たちを含む国家の主導的高

等教育機関の教師が、講義をしセミナーを主宰するために招かれる。この方法は、極東のすべての学生を勉学させるために首都にやるよりも、教授を学生のところに連れてくる方が容易であるということで、今では一般に行われている。

「産業における会計」を専攻する学生は、会計理論、企業会計、会計士のコンピュータ利用法、および企業監査を広範に学ぶ。「外国経済活動の会計と監査」での訓練は、外国経済活動の会計、国際会計と国際標準、ファンド、株式と証券、企業会計のような専門科目の学習、および英語の集中学習を意味する。

以上、出版された事実から知ることができるように、極東では、アカデミーは特別なものであり、学生が密接に関連した職業について訓練される大きな高等教育機関である。例えば、ハバロフスク国立経済・法律アカデミーでは、法律家、様々な分野のマネージャー、エコノミスト、ビジネスマンなどが育てられる。カムチャッカ国立水産海洋アカデミーでは、学生は海に関する様々な職業について学ぶ。アカデミーのもうひとつの特徴は、総合大学に比べて、教育と研究の水準が高いことである。

2.5.3 インスティテュート

現在の極東ロシアには、13のインスティテュートがあり、そのうち10校は国立で3校は私立である。1917年のロシア革命の前には、インスティテュートは、私立高等学校を意味する特別な名前だった。1917年以後は、この名前は、教育と科学の高等研究機関を表すために使われた。学生は高等教育の卒業証書を得るけれども、インスティテュートの地位と力は、通常、大学よりも低い。インスティテュートは、普通、教育、医学、機械工業技術、無線エレクトロニクスなどの一つの分野の知識を教える。

2.5.3.1 極東商業インスティテュート

ウラジオストクにある極東商業インスティテュート(ロシア連邦高等教育全国コミティー)は典型的である。このインスティテュートは、1963年12月にモスクワ全国経済インスティテュートの分校として設立された。1968年4月に極東ソビエト貿易インスティテュートに再編成され、1991年に、極東商業インスティテュートに名前を変えた。

ここには、経済、会計、商業、サービス分野のビジネス、ひとつの特別な学部(国際経済関係)、そして

ひとつの学外対象の学部計7学部がある。全体で4500人以上(フルタイムの学生が2300人,学外の学生が2300人)の学生がいる。インスティテュートの組織には「大洋」と呼ばれる科学的生産センター,計算機センター,図書館,編集出版部,快速印刷部がある。企業そのほかの組織のために,このインスティテュートの分校がある。このインスティテュートには,260人の教師と講師がおり,そのうち4人は科学博士である教授,122人は科学キャンディデイト(PhD)である助教授である。

学生は,貿易と運輸における経済と経営,産業活動の管理と分析,工業製品の商品研究,食品生産の商品研究,商品とサービスの分野における経済活動,配送の技術,そして国際経済関係の7つの専門で訓練される。このインスティテュートの研究プログラムは専門家の訓練指向に対応している。

2.5.3.2 ユジノサハリンスク経済・法律・情報技術インスティテュート

これは極東の私立インスティテュートのもっとも典型的なものである。このインスティテュートは,6つの学部と,経済と法律の公認リセアム,9つの講座,4つの研究所,情報技術センターを持っている。それらは,2年間,4年間,5年間の3つのレベルのコースを提供している。学生は,2年間の学習の後で,学習を続ける可能性が無い場合には,訓練を終了して不完全最大職業訓練の卒業証書を受け取ることができる。4年間の訓練の後には,しかじかの専門の学士号を授与すると記載された高等教育卒業証書が卒業生に与えられる。5年間の訓練の後には,最高資格エキスパートの卒業証書が卒業生に与えられる。インスティテュートでの訓練は国家教育標準の基準に従ってなされる。このインスティテュートには,約60%の学生がサハリン地方の周辺地域から来ている。このインスティテュートの教育はすべて有料である。

3. おわりに

この論考では,極東ロシアの現在の問題について触れることはできなかったが,テーマの範囲での現状にだいたい光を当てたように思う。

注

1. 1999年のロシア教育省の公式ウェブサイト(<http://db.informika.ru/VR>)に記載されている軍高等教育機関とカレッジ(大学,機関とさまざまな市民高等教育機関)以外に,1065の機関がある。

2. 教育省のインターネットサイト(<http://www.informika.ru>)でのロシア連邦高等教育国家委員会議長 V. キネリョフ教授の前書き。

3. チェルノフ V. A.,「非国立高等教育機関の展開の現代の状況と傾向」,Magistr.,RIHE Newsletter, #5-6 (46-47) May-June 1999 (<http://www.informika.ru>)

4. それらの中には,芸術アカデミー,一般および職業教育,外務,健康,防衛,農業,法務などの各省庁合わせて24がある。

5. 現代ロシアの中等教育にはさまざまなタイプがある。例えば,ギムナジウム,リセ,高等学校,カレッジなどがある。9年生のあとに,卒業生は非常に広範囲の進路から選択する。

6. <http://www.informika.ru>

7. ドロニシネッツ N. P.,「ロシアにおける高等教育の諸問題」,International Higher Education Research, Hokkaido University, Sapporo, Japan, 3 (1999), edited by Masanao Takeda, 65-74.

8. コルスノフ V. I.,「ロシアにおける高等教育のマルチレベル・システムの運営上の問題」,International Higher Education Research, 3 (1999), 75-81. (ロシア語)「21世紀の戸口での極東とアジア太平洋地域の諸国における高等教育」,国際会議の資料,第1部と第2部,サハリン国立大学,ユジノサハリンスク,ロシア,1999.

9. <http://www.cspp.strath.ac.uk/SC4-Students-in-Higher-Education-1.htm>

10. カレッジは含まれていない。

11. ロシア政府の教育省と科学省の情報技術と遠隔コミュニケーション国立インスティテュートによるリストに含まれていたもののみが含まれている。従って,この情報は公式的な性格のものである。次を見よ:<http://www.informika.ru/text/database/>

12. 例えば,私の娘は東洋研究インスティテュートの日本学科の4年生である。彼女の入試での成績はすべて「エクセレント」であった。彼女は授業料免除であるが,我々は彼女の第2の専門である英語のために少額の授業料を支払っている。それは非常に融通のきく立場である。入試にパスしなかったらすべての

授業に対して授業料を払うことになる。

12. ロシアの高等教育機関では、科学キャンディデイトが最初の科学の学位であり、それは他の国の PhD に対応している。通常、科学キャンディデイトは助教授の肩書きを得る。科学博士は我々の国では次の科学の学位である。一般に、科学博士は教授の肩書きを得る。

13. <http://www.evgu.ru/eng/>

14. 自然科学、東洋研究と経済、文献学、教育、歴史、社会学と地方自治体運営、工学、の各インスティテュート、人類の科学研究インスティテュートおよび地球と生物圏の物理学の科学研究インスティテュート。

15. この学部はまもなく工学研究のための石油とガスの学科になる予定である。

16. ミシコフ B.R., 「われわれのこのデザインがサハリン地域の高等教育のシステム改革の機会を与える」, *International Higher Education Research*, 3 (1999), 21-22. (ロシア語)

17. 極東国立工業大学 (FESTU) では、学生は次の専門の訓練をされている: 応用数学; 社会活動; 経済学と生産管理のような専門が付加されているマネジメント; 地質学的な調査, 捜索および見込み; 地球物理学的捜索と見込み; 鉱物の堆積の地下開発; 露天採鉱; 発電; 電力供給; 熱電発電; 機械製作工学; 溶接生産の機械と工学; 造船; 船上発電; クレーン, ビル

ディング, 道路建設機械と工学; 採鉱機械と設備; 船上の電子設備とコンピュータ支援システム; 内視検査の物理学的方法と装置; 工学的生産過程の自動化; 企業単位と工業複合体の電子制御と自動化; 計算機, 計算機複合体, システムとネットワークコンピュータ支援情報処理と情報管理システム; 無線電子装置の設計と工学; 建築学; 都市, 郊外および庭園の総体の芸術的設計; 工業工学と土木工学; 熱と水の供給, 空気の保護; 水の供給, 下水処理, 水資源の合理的利用と保護。

18. ハバロフスク国立経済法律アカデミーのウェブサイト (<http://www.ael.khst.ru>) の情報からカウントした。

19. このアカデミーの学科は、次の通り: 刑法, 刑事過程と刑事学, 経済学と労働社会学, 経済学と貿易企業マネジメント, 経済数学モデリング, 企業経済とマネジメント経済, 財政理論, 外国経済関係論, 外国語, 一般経済問題, 国家と法律の歴史と理論, 人文学, 情報技術, 保険, 労働および財産法, 法律マーケティング, 軍事訓練, 身体訓練とスポーツ生産研究, 社会人文学, 国家と行政法, 国家と地方マネジメントの統計。

20. 『Magiter (ロシア高等教育インスティテュートのニューズレター)』 9 (50), 9月-10月, 1999 (<http://www.informika.ru>)

(西森敏之訳)